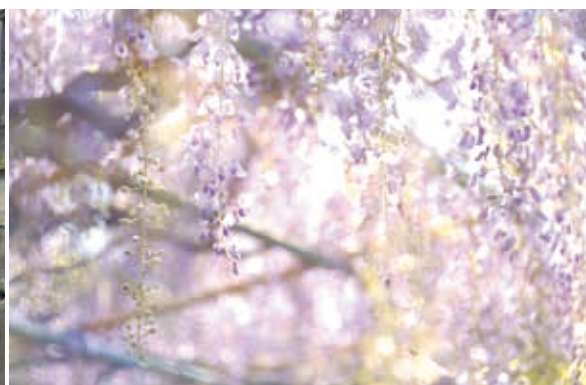


# Hekikai Report

地域金融機関として  
伝えるビジネスの  
“今”と“これから”

〈企画・編集〉  
碧海信用金庫  
経営企画部 企画グループ  
<https://www.hekishin.jp/>



## ● 企業訪問 地域の躍動企業

アルメック株式会社

代表取締役社長 星河 秀樹 氏

専務取締役 星河 重仁 氏

## ● 特集 碧南市ご当地グルメ「へきなん焼きそば」

## ● アンケート調査

物流の「2024年問題」アンケート結果

## ● Topics カーボンニュートラルに取り組む現場をご紹介

● SDGsレポート vol.17 (2024年1月～3月)

● 地域の景気動向 2024年3月調査



企業訪問

## 地域の躍動企業

「資源に無限の夢を。」



われわれの役割は、さまざまな資源の本質をつかみ、最高の技術と精進な仕事で引き出し、常にそれ以上の価値を生み出すことである。ひとり地球の未来を守る「資源循環のプロフェッショナル」として、誇りと責任をもち、資源に無限の夢を持ち続けていく。と地味な努力を通じて「輝ける存在」となり、そのやりがいや社員全員の熱心な取り組みの充実と幸せにつなげていく。

### SPECIAL INTERVIEW

豊明支店お取引先

アルメック株式会社

代表取締役社長

星河 秀樹 氏 (写真右)

専務取締役

星河 重仁 氏 (写真左)

愛知県豊明市を創業の地とし、愛知県大府市に本社を構えるアルメック株式会社は、自動車の電装部品などを製造する際に発生する端材や建築廃材を原材料として買い入れ、適切に選別・加工し、再生原料として販売している「資源製造供給会社」です。「資源に無限の夢を。」という経営理念に込められた想いや、「人を何よりも大切にしている」と語る星河社長にお話を伺いました。

社内エンジニアが独自設計したシュレッダープラントを設置。複合品を粉砕することにより、より精度の高い資源選別が可能に

—創業からの歩みと事業内容について教えてください。

1959年、私の祖父である星河仙吉が創業しました。当時はまだ「リサイクル」という言葉もありませんでしたが、鉄スクラップに限らず、古新聞、古布、段ボール、ガラスなど、さまざまな廃品回収を行っていたそうです。そのなかで、将来性のある分野に事業を特化しようと、鉄・非鉄スクラップ業へと一本化しました。仙吉の言葉に「ゴミは宝の山」というものがありますが、高度経済成長に伴い、自動車関連をはじめとする工業製品の製造が活発となる時代において、鉄などの資源が脚光を浴びる時代が来ると読んでいたのでしょう。

現在は鉄と銅・アルミ・ステンレスといった非鉄金属の両方を取り扱っており、さまざまな加工設備によってお客様の要望に応じた製品を迅速に提供しています。また、金属とプラスチックが一体となって製品を構成している「複合物」が近年増えており、これらを適切にリサイクルするために「シュレッダー（粉砕機）プラント」を備えています。複合物を細かく砕いて鉄原料と非鉄原料に分けることで、その後の資源分別がより精密に、よりスムーズになっており、お客さまからも高評価をいただいております。粉砕効率が上がるよう、自社のエンジニアが設計し、特許も取得しています。さらに水の上下波動を利用した比重選別装置を組み込んだ「非鉄ピックアップライン」は、粉砕した原料を種類ごとに分けるためのものですが、環境負荷の軽減と資源循環型社会の形成に貢献している点が評価され、愛知環境賞・優

秀賞を受賞しています。カーボンニュートラルや資源安全保障などの重要性が今後ますます高まっていくと思われませんが、同時に当社が果たすべき役割の重要性も高まります。あらゆる資源を再生し、地域やお客さまをはじめとする社会へと還元していきたいと考えています。



▲資源を効率よく社会に還元するためには、回収した後の選別工程が重要。アルメックでは「何にどんなものが混ざっているか」という長年の経験により蓄積されたノウハウをマニュアル化し、知識を継承させている

—「財産は人」というアルメックの、人材育成について教えてください。

仕事を遂行する上では「技術と人間力」の両輪が必要不可欠です。いくら技術や設備を保持していても、それを活用して社会へと還元するのは「人」。人間力を磨き続けなければ、地域やお客さまから求められる良いアウトプットはできません。そこで、2008年から社内読書会木鶏<sup>もつけい</sup>クラブを立ち上げました。月刊誌「致知」を全社員に配布し、その感想文を書いてもらうという取り組みで、チーム内でそれぞれの感想文を発表して代表者を選出し、次に全員の前で発表します。発表の後、チームリーダーは所感を述べ、役員が総括という流れで毎月実施しており、2024年2月に170回を突破しました。一道を究めた先達の経験や想いに触れることで、さまざまな気づきを得られるほか、感想を話し合うことで皆の意識を高め合うことができます。「具体的な業務内容は異なっても、求められる志や気持ちの持ちようはどの仕事でも変わ

資源の価値を高め、社会へ還元するために。  
それぞれが能力を高め、意識を共有するプロ集団



らない」という学びは、今や全社に息づいていると日々実感しています。また、傾聴力やプレゼン力、コミュニケーション力、文章読解力など、業務に直結する力も培われています。

取り組みをスタートした当初は、木鶏クラブを開催する意図を社員になかなか理解してもらえなかったり、「致知の内容が難しい」と戸惑う社員もいたり、決して順風満帆とはいきませんでした。ですが「自分が成長できる場である」ということが理解されるようになると、木鶏クラブを「自分事」として捉えられる社員が増えてきました。回数を重ねるにつれ浸透していき、なかには木鶏クラブに魅力を感じて入社してくれた社員もいます。また、企業文化の醸成が進み、社内のさまざまな取り組みがスムーズに運ぶようになりまし。強い意志で木鶏クラブを継続してきたことが、アルメックの大きな財産となっていると感じます。



▲月に一度社員の「人間力」を培う場となっている、社内読書会木鶏クラブ

## どれだけ優れた設備やツールがあっても使うのは「人」だからこそ、社員同士や地域の人々との交流を重視

一地域社会との関わりや、アルメックミュージアムについて教えてください。

アルメックでは、地域貢献活動として寄付などの金銭的支援だけではなく、地域イベントへの参加など、人的な貢献活動にこだわっています。高齢化により苦勞されていると聞いた地域の夏祭り準備を手伝ったり、リサイクルの仕組みを知る「出前授業」を地元の小学校で行ったり…。業務が立て込んでいると要員確保に苦慮することもあります。社内には「AS (ARMEC-Satisfaction) 向上委員会」を設置し、窓口となって推進しています。できるだけ地域の皆さまとふれあい、社員の人となりを見ていただきたい、さらにはリサイクルの重要性を知っていただきたい

いと考えています。

創業60周年記念事業として大府工場に開設した「アルメックミュージアム」は、地域の方々からアルメックの事業内容を知ってもらいたいという想いと同時に、社員一人ひとりが、自分たちの仕事を家族や友人らに誇りをもって伝えることができるようにという理由もありました。中央にあるジオラマには、金属の廃材や、アルメックで製造された金属製品などが使われており「アルメックの技術で豊かな暮らしを提供し、喜ばれる存在でありたい」という想いを表現しています。これまで小学生から企業の重役まで、さまざまな方に見ていただいています。好評です。これからも多くの方に来場していただきたいですね。



▲安全に、わかりやすく、楽しく業務紹介ができるよう「アルメックミュージアム」を開設。金属の廃材を使って町を表現したジオラマや、原材料である金属片、選別・加工された金属製品などが展示されている

一社員のエンゲージメント向上は多くの企業で課題となっています。どのような取り組みをしているか、教えてください。

事務所と現場、あるいは工場が2か所に分かれていることにより、社員同士のコミュニケーションを密に取るのが難しいという課題を抱えていました。そこで、社内の情報共有を気軽にできるようにコミュニケーションツールとして社内SNS「TUNAG (ツナグ)」を導入。役員をはじめ、上長、一般社員がフラットに発言できる場として機能しています。採用イベントや社内の懇親会など「何かあったらTUNAGに投稿しよう」という風土ができつつあり、特定の人だけが投稿するということなく、全員が発信しています。「サンクスメッセージ」の投稿欄には、ちょっとしたことでも「あの時助けてくれてありがとう」というメッセージが投稿されます。



▲目指す企業文化は「ワクワク・ニコニコ・ドンドン」と話す星河社長。ワクワクは未知なるものに向かう楽しさや何かをやり遂げる楽しさを、ニコニコは明るく楽しい人間関係とありがとうが飛び交う職場を、ドンドンは全員経営の精神で自ら動く姿を表しているという

すると、本人にとってはモチベーションの向上につながり、私たちにとっても現場での社員の活躍がわかるように。だんだんと感謝し合う文化が生まれ、「何かお手伝いできることはありませんか?」と自ら発信することができるようになってきました。社員のログイン率が毎日100%と活発に利用されていますが「意見を共有する」という意識を、木鶏クラブで培ってきたベースがあるからうまく活用できているのだと考えています。



▲社内SNS「TUNAG (ツナグ)」には、社長メッセージや会社方針の共有など業務に直結するものから、社員同士でお出かけた際の写真共有まで、さまざまな情報が投稿されている

一2024年から稼働スタートした寺前倉庫について教えてください。

私たちが扱うものは、スクラップではなく「貴重な資源」。だからこそ、きちんと管理できる広い倉庫が必要でした。さらにはお客様の要望も細分化していき、自動選別だけではなく最後は人の手で選別する必要も増えてきました。そこで、新たな場所を作って働きやすい環境を整え、女性や高齢の方も活躍できる場をつくらうと、豊明市内に倉庫を建設したんです。豊明市内にある曹源寺という、由緒あるお寺のまさに正面にあり、振動や騒音などに万全の対策を施した最新鋭の倉庫ですが、運営していくのはあくまで「人」。地域にとって重要な場所でお仕事をさせていただくのだという緊張感と責任感を、社員一人ひとりが持って精進してまいります。

## ■企業プロフィール アルメック株式会社

主に金属を含む端材や廃材を原材料として仕入れ、選別・加工の後に再生原料として販売。鉄と銅・アルミ・ステンレスといった非鉄金属の両方を取り扱い、アイテム数が豊富であることや、さまざまな加工設備により顧客の要望に的確かつ迅速に対応している。



本 社	〒470-1153 愛知県豊明市前後町三ツ谷1361
T E L	0562-44-1159
F A X	0562-44-3789
代 表 者	星河 秀樹
創 業	昭和34年
資 本 金	1,000万円
事 業 内 容	製鉄原料加工及び販売、一般建設業(とび、土工)、宅地建物取引業、産業廃棄物処分業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物再生事業
U R L	https://www.armac.jp/

## ■企業沿革

昭和34年	愛知県豊明市前後町にて星河商店創業
昭和43年	豊明第1工場を竣工
昭和52年	豊明第2工場を竣工
平成7年	大府工場と事務所が完成
平成15年	豊明工場にてISO14001の認証取得
平成19年	2009年4月入社に向けた初の新卒採用活動キックオフ
平成20年	アルメック株式会社にて名称変更
平成21年	社内読書会「木鶏クラブ」の設立
平成23年	ISO27001の認証取得、優良産業廃棄物処理業者に認定
平成28年	非鉄ビックアップライン構築を開始
平成29年	社内コミュニケーションツール「TUNAG」試験導入開始
平成30年	愛知環境賞「優秀賞」受賞
令和2年	「アルメックミュージアム」開設
令和5年	寺前倉庫を竣工



左から、豊明支店本多課長、アルメック株式会社星河専務取締役、星河代表取締役社長、豊明支店・豊明南支店・小野支店長





100年フードに認定! 白しょうゆ発祥の地

碧南市ご当地グルメ

# 「へきなん焼きそば」



地産地消に  
こだわっているよ!!



## 「へきなん焼きそば」について



13年前、碧南市をアピールするご当地グルメとして誕生した“へきなん焼きそば”。市の特産品である「にんじん」「玉ねぎ」を具材として、碧南発祥の琥珀色の醤油「白しょうゆ・白だし」と、同じく碧南特産の伝統調味料「三河みりん」で味付けした、あっさりとしたやさしい味が特長です。

イベントでは、環境に配慮した食べられるトレーで提供していることも特長で、地元を中心に様々なイベントに参加して「へきなん」を発信しています。そのような活動が評価され、2021年には文化庁の100年フードにも認定していただきました。市内では、十数店舗の飲食店様に、それぞれオリジナルな“へきなん焼きそば”をご考案ご提供していただいておりますので、へきなん焼きそば巡りもお楽しみいただけます。

私たちは、大好きな郷土「へきなん」を、親しみやすいご当地グルメを通して全国に発信してまいります。

へきなん焼きそばまちおこし隊 会長 蛭川 洋一 氏



碧南市長と  
まちおこし隊の  
みなさま



## 碧南市

名古屋市から南東の位置にある人口約7万3千人の町です。三河湾や矢作川、油ヶ淵に面しており、温暖な気候と風土に恵まれているため、漁業や農業がとて盛んです。

“へきなん焼きそば”は、2011年に「へきなんまちおこしを考える会」が発足したのを契機に誕生し、「へきなん焼きそばまちおこし隊」が認知拡大と地産地消、碧南市の活性化を目指して活動しています。

2018年には大手製パン会社2社から、へきなん焼きそばのコラボパンが商品化されるなど、幅広く認知されるようになりました。碧南市を訪れた際には、ご当地グルメの“へきなん焼きそば”を食べてみませんか。

## 「へきなん焼きそば」のここがおいしい!

“へきなん焼きそば”の美味しさには、白しょうゆをはじめとして大きく4つのポイントがあります。ソース味とは違う焼きそばの味を体験してみてくださいね。

また、調味料や具材はスーパーなどでも購入できますので、ご家庭で色々な料理にチャレンジしてみてもいいですね。



## point 01 碧南市発祥の白しょうゆを使用!

江戸時代後期に碧南新川地区が発祥の白しょうゆ。主原料は小麦で、醤油の中で最も色の薄い琥珀色をしています。一般的には白しょうゆにだしを加えた「白だし」が知られています。また、白しょうゆを使用した「へきなん焼きそばのたれ」も商品化されています。



## <白しょうゆの製造・販売>



### ヤマシン醸造株式会社

碧南の地で醸造をはじめ200年以上の白醤油メーカーです。2世紀を超えて今日まで昔と変わらぬ味を守り続けています。素材の色を美味しく楽しめる、白醤油の他に白ぼん酢、生姜白だし、オリーブ白しょう油などバラエティーに富んだ商品をお楽しみください。



ホームページはこちら



### 日東醸造株式会社

愛知県産小麦を通常の2倍使った麦麴と、伝統海塩「海の精」を足助仕込蔵の井戸水で仕込水にしています。小麦の旨味たっぷりの唯一無二の麦醬(むぎひしお)をご賞味ください。



ホームページはこちら



### 七福醸造株式会社

白だしを最初に造った蔵元です。ベースとなるのは有機小麦と有機大豆を使用した有機白醤油。「子どもに安心して食べさせられる物」を製造し、お届けしています。本当の意味での「安心・安全」にこだわる製造工場「ありがとうの里」を、ぜひご見学ください。



ホームページはこちら

※詳しい内容につきましては、「へきなん焼きそば」のホームページをご覧ください。

<https://www.hekisoba.com>

ホーム  
ページは  
こちら





## point 02 食べられる器を使用!

イベント出店時には、環境保護に少しでも貢献できるよう“えびせんべいの器”を開発し、使用しています。環境にも優しい食べられる器は、日本国内に止まらず世界で話題になっています。



### <食べられる器の製造・販売>



#### 株式会社丸繁製菓

碧南市で食べる器やアイスクリームコーンの製造・販売を行っている(株)丸繁製菓です。最後の最後まで食べられる器なので、イベントやホームパーティー等で食べ物の容器として使っていただく事でゴミの削減にも繋がります。



ホームページはこちら

## point 03 こだわりの麺!

大半の店舗では、碧南市で大正5年から伝統を引き継いで作り続けている大磯屋のこだわり麺を使用しています。テレビでも取り上げられるなど大人気の麺です。



### <こだわりの麺の製造・販売>



#### 株式会社大磯屋製麺所

大正15年創業の熟成焼そば® 専門製造・卸販売の大磯屋製麺所です。伝統製法の島田掛け乾燥熟成にて国産小麦粉の風味豊かで、しなやかな強いコシのある熟成焼そば® は白しょうゆベースのへきなん焼きそばとの相性も抜群です。



ホームページはこちら

## point 04 碧南の美味しい野菜!

市場での評価がとても高い碧南市が誇るにんじん「へきなん美人」や、海沿いの砂地で栽培され、みずみずしく辛みも少ない玉ねぎを使用しています。



### <新鮮野菜の提供>



#### JAあいち中央

実は碧南は、にんじんも玉ねぎも東海三県ナンバーワンの産地なんです。矢作川下流のさらさらの砂地で育ったにんじんは肌つやがよく甘みが強くせがなく、玉ねぎは辛みが少なく柔らかくみずみずしいです。碧南名物に花を添える、自慢の商品です。



ホームページはこちら

## 「へきなん焼きそば」は地域のイベントでも食べられます

へきなん焼きそばは、市内企業のイベントや「元気ッス!へきなん」などにも積極的に出店しています。どこかのイベントで“へきなん焼きそば”に巡り合えるかも!?



### 今後のイベント予定

●令和6年7月27日(土)「元気ッス!へきなん」

## 「へきなん焼きそば」が食べられるお店紹介

お店ごとにオリジナルのへきなん焼きそばを食べることができます。碧南市を訪れた際には、ぜひ食べてみてくださいね。



ベーカリー ドック  
**Bakery Dooku**  
碧南市源氏町1丁目15-10  
TEL:0566-55-2121



さくら  
碧南市縄手町5-111  
TEL:0566-48-0488



ちゃんこ やくら  
碧南市立山町3丁目19-1  
TEL:0566-48-8500



レストラン 美志ま 衣浦港湾会館店  
碧南市港本町1-7  
TEL:0566-42-4869



だいどころ  
碧南市江口町3丁目15-3  
TEL:0566-46-8058



みのりや  
碧南市源氏町5丁目60  
TEL:0566-41-1811



好味家  
碧南市羽根町1丁目22  
TEL:0566-41-1479



新撰組  
碧南市善明町1丁目35  
TEL:0120-454-093



あさひや  
**ASAHIYA**  
碧南市野田町34  
TEL:0566-41-2819



ふくもとや  
**福本屋**  
碧南市栄町1丁目32  
TEL:0566-41-2441



たあぶる  
碧南市住吉町4丁目95  
TEL:0566-48-2655



※本記事の編集、および写真等の提供につきましては、「へきなん焼きそばまちおこし隊」様にご協力いただきました。※掲載内容につきましては変更となっている場合があります。最新情報は各施設のホームページ等でご確認いただくか、各施設にお問い合わせください。



## 物流の「2024年問題」アンケート結果

働き方改革関連法により、2024年4月1日から自動車運転業務の年間時間外労働の960時間上限規制等が適用されるようになります。労働時間が短くなることで輸送能力が不足し、モノが運べなくなる可能性が懸念されており、これらの諸問題は物流の「2024年問題」と言われています。

当金庫では、2023年9月～10月に物流の「2024年問題」に関するアンケートを実施しましたので、結果をお知らせします。

### ■実施概要

- (1) 実施期間 2023年9月～10月
- (2) 調査対象 運送関連事業者：231先
- (3) 回答結果 運送関連事業者：190先

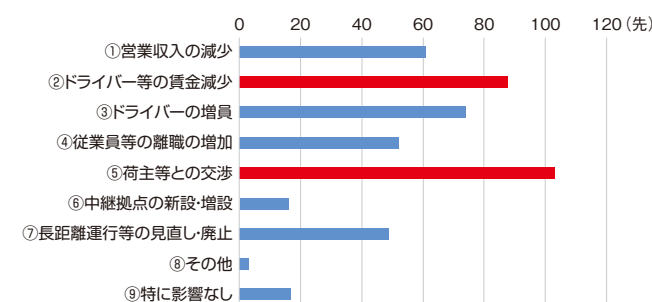
※アンケート調査に多数ご協力いただき、ありがとうございました。

※詳しいアンケート結果につきましては、こちらからご覧いただけます。

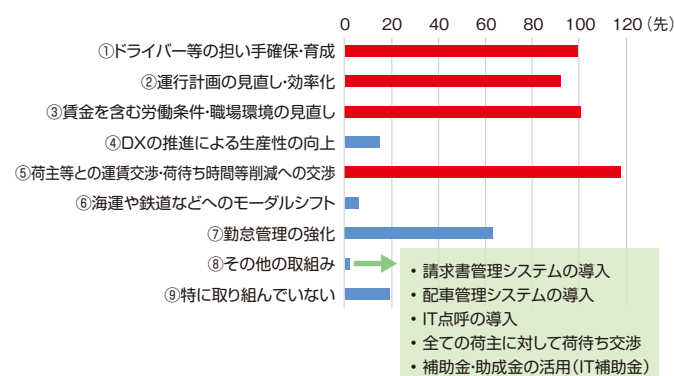


### <アンケート結果(一部抜粋)>

#### ●「2024年問題」により考えられる事業への影響をお聞かせください。(複数回答可)

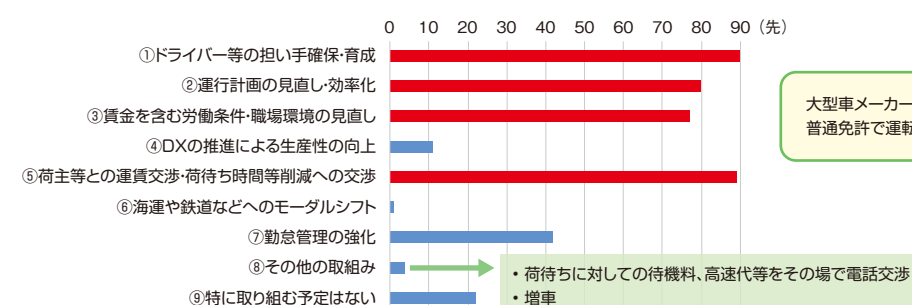


#### ●「2024年問題」に対応するため、現在既に取り組んでいる内容をお聞かせください。(複数回答可)



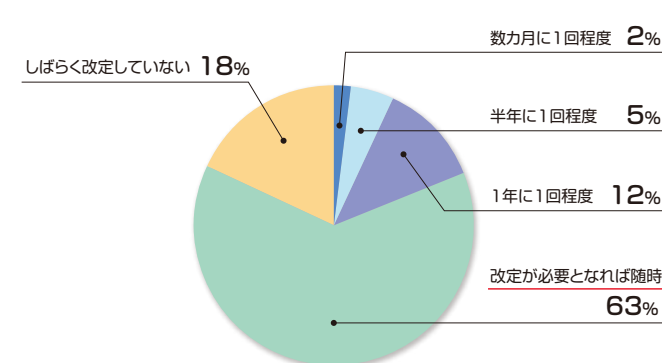
- ・請求書管理システムの導入
- ・配車管理システムの導入
- ・IT点呼の導入
- ・全ての荷主に対して荷待ち交渉
- ・補助金・助成金の活用(IT補助金)

#### ●「2024年問題」に対応するため、今後取り組み予定の内容をお聞かせください。(複数回答可)



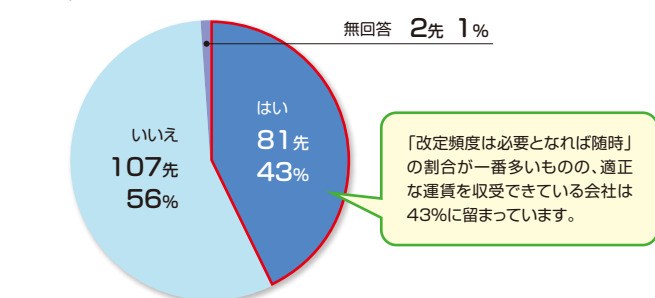
- ・荷待ちに対しての待機料、高速代等をその場で電話交渉
- ・増車

#### ● 運賃・料金の改定頻度についてお聞かせください。



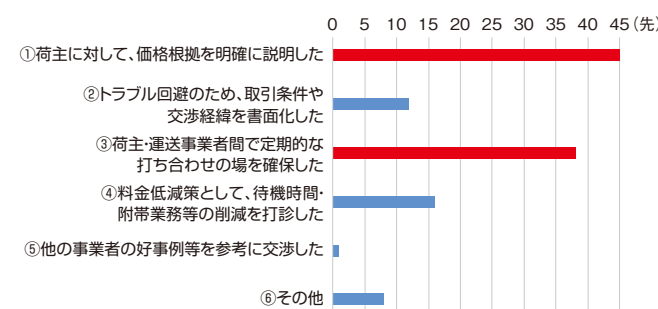
#### ●「標準的な運賃制度」の活用状況についてお聞かせください。

##### (1)「標準的な運賃制度」の活用などにより、適正な運賃を収受できていますか。

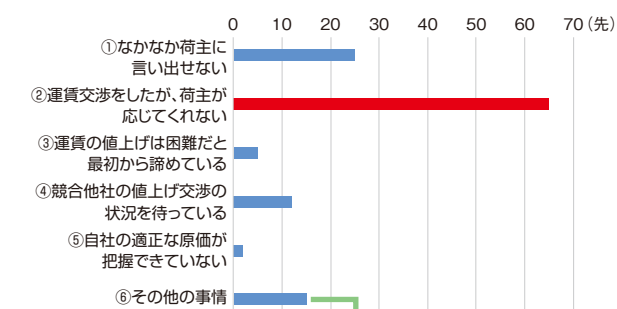


「改定頻度は必要となれば随時」の割合が一番多いものの、適正な運賃を収受できている会社は43%に留まっています。

#### ●「標準的な運賃制度」の活用状況についてお聞かせください。(2) 収受できている場合、適正運賃を収受するための取組みや工夫した点をお聞かせください。(複数回答可)

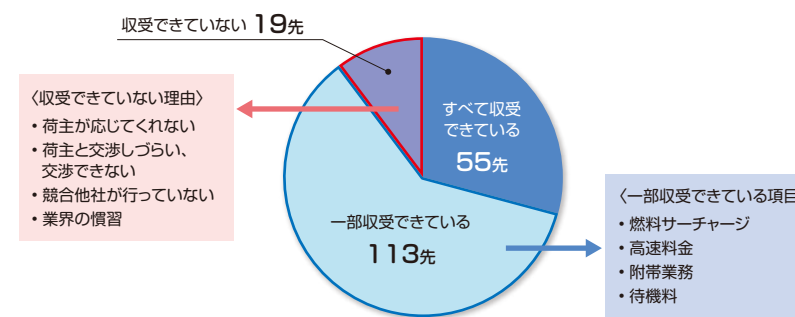


#### (3) 収受できていない場合、適正運賃が収受できない事情は何でしょうか?(複数回答可)



- ・公的機関の荷主へのアピール不足(大手企業の相場賃金の引上げ情報を他企業へ周知してほしい)
- ・適正運賃に法的拘束力がなく、軽視されているため
- ・部門によっては収受できているが、適正運賃の設定が高すぎて交渉のテーブルに上げられないため
- ・運送業の社会的地位が低く見られているため

#### ● 燃料サーチャージ、待機時間や付帯業務には料金が発生すること、高速道路料金の実費等について荷主に交渉し必要経費を収受できていますか。



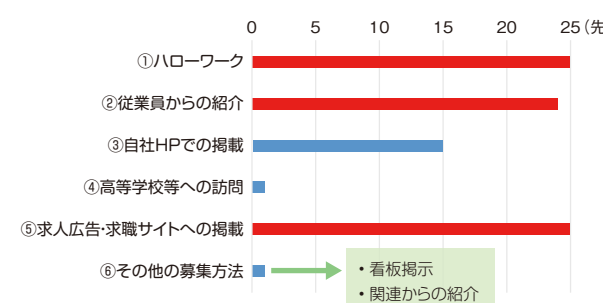
- 〈収受できていない理由〉
- ・荷主が応じてくれない
  - ・荷主と交渉しづらい、交渉できない
  - ・競合他社が行っていない
  - ・業界の慣習

- 〈一部収受できている項目〉
- ・燃料サーチャージ
  - ・高速料金
  - ・付帯業務
  - ・待機料



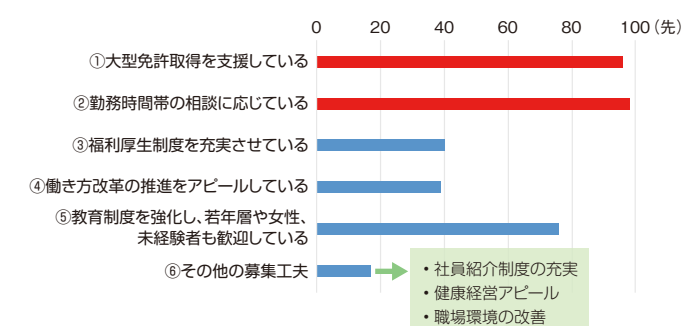
#### ● ドライバーを含む従業員の募集について(複数回答可)

##### (1) 募集方法についてお聞かせください。



- ・看板掲示
- ・関連からの紹介

##### (2) 募集の際に工夫していることをお聞かせください。



- ・社員紹介制度の充実
- ・健康経営アピール
- ・職場環境の改善

～へきしんは、お客さまの課題解決に向けたお手伝いをしています～

へきしんでは、物流の「2024年問題」を解決するための各種支援メニューをご用意しています。

- **デジタル化支援** …… デジタル化に関する悩みや事業課題をお持ちのお客さまに、課題解決に向けたコンサルティング支援、デジタルサービスのご提案をします。
- **人材紹介サービス** …… 提携する人材紹介事業者と連携のうえ、適切な人材をご紹介します。
- **へきしん Big Advance** …… 中小企業の経営課題や成長をWEBでサポートする経営支援デジタルプラットフォームです。
- **各種補助金や助成金の情報提供や申請のサポート**

各種支援メニューの概要はこちら

<https://www.hekishin.jp/business/>



詳しくは当金庫のお取引店、またはホームページからお問い合わせください。

<https://www.hekishin.jp/seminar/?secp=k4mf>





～カーボンニュートラルに取り組む現場をご紹介します～

環境省事業「動画で知るESG地域金融」での動画制作を通じて

昨今、カーボンニュートラルへの取り組みは企業にとって欠かせないものになってきています。しかしながら、カーボンニュートラルの達成は非常に長期的な視点が必要となります。そのため、何からどのように始めたらよいかと悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。今回は、環境省の事業の中で取材した、カーボンニュートラルに取り組む最前線のみなさまをご紹介します。

榊原精器株式会社

同社は、自動車部品および付属品の製造等を営む企業で、カーボンニュートラルに対して意識を高く持って取り組んでいます。特に、電動化部品は国内のみでなく、国外へ渡っていくことが想定されるため、海外の脱炭素における規制に対応出来るよう、省エネを重視した設備を導入し、カーボンニュートラル対応を進めています。省エネ設備投資にはさまざまな補助制度があるので、そういった情報収集も重視しています。



代表取締役社長 榊原基広 氏

角文株式会社

同社は、地域の老舗建設会社です。従来から「川の環境学習」や「水源の森づくり活動」等、地域の環境保全に積極的に取り組む中で、カーボンニュートラルへの対応も他社に先駆けて取り組みを進めています。期間や工法がそれぞれ違うため、建設現場一つ一つの温室効果ガスの可視化が必要と考え、目標を設定した取り組みを始めます。また、どのような工法が一番カーボンニュートラルに近づくのか等も検証していくとのことでした。



代表取締役社長 鈴木文三郎 氏

安城市

安城市では、当金庫と共同で「あんじょうSDGs共創パートナー」制度を立ち上げ、カーボンニュートラルを含めた、地域の事業者のSDGsに関する課題解決を公民連携で行っています。地域の事業者同士がつながる仕組みで、新しいイノベーションの創出が期待されます。「あんじょうSDGs共創パートナー」は安城市内事業者に限らず、さまざまな企業・団体の方の登録をお待ちしています。



企画部 健幸=SDGs課 公民連携係 係長 服部由佳理 氏(動画撮影当時)

環境省では地域金融機関におけるESG金融を紹介する動画「動画で知るESG地域金融: ESG金融の現場」を制作しています。当金庫の紹介をいただいた中で、榊原精器株式会社様、角文株式会社様、安城市様にご出演いただきました。

動画の視聴はこちら

21世紀金融行動原則事務局(環境省事業 請負先)のホームページに遷移



碧海信用金庫は、地域金融機関としてSDGsの取り組みを通じて持続可能な地域社会の実現に貢献します。

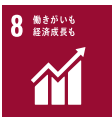
あいちアール・ブリュット×アティックアート 連携事業に協力

愛知県障害者芸術活動参加促進事業に協力し、障がいがある方が創作した作品をデザイン化した「ボックスティッシュ」と「マイクロファイバークロス」を制作しました。2月14日から3月6日の期間は、ノベルティグッズや原画を展示する「まちなかギャラリー」をローンプラザ安城、豊田町支店、御園支店にて開催しました。



第5回へきしん金シャチねっとワーク 「人が集まり定着する組織づくり」セミナーを開催

多くの企業で課題となっている「従業員の定着と活躍」をテーマにしたセミナーを2月16日に開催しました。実際に効果的な取り組みをされている中小企業の担当者に成功事例などをお話しいただき、多数のお客さまにご参加いただきました。



安城市との共催セミナー 「脱炭素社会の実現に向けて」を開催

2月20日に、へきしんギャラクシープラザにて環境省および愛知県の担当者を招いて事業者さまの脱炭素化に向けたセミナーを開催しました。今後もお客さまの脱炭素化支援に力を入れてまいります。



「へきしんキャッシュレス化大相談会2024」を開催

2月28日に、B to C事業を営むお客さまを主な対象としたキャッシュレス関連商品・サービスの展示会・商談会を開催しました。実際に商品やサービスに触れながら商談が可能な場として、58名の方が参加されました。引き続き、お客さまの課題解決支援に取り組んでまいります。



安城市との共催イベント「SDGsフェスタinあんじょう」を開催



3月10日に安城市と共催でSDGsの普及・啓発を図るイベントを開催しました。基調講演や高校生による発表会の他、SDGsに取り組む企業がブース出展し、ご家族やご友人と一緒に多くの方々にご来場いただきました。

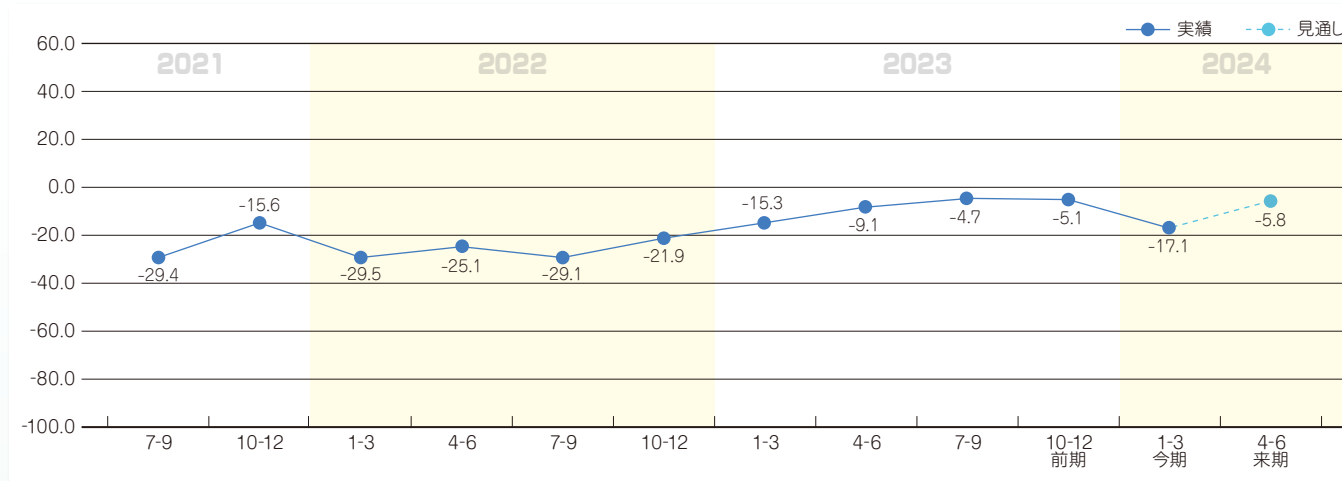


全業種

回答数310社

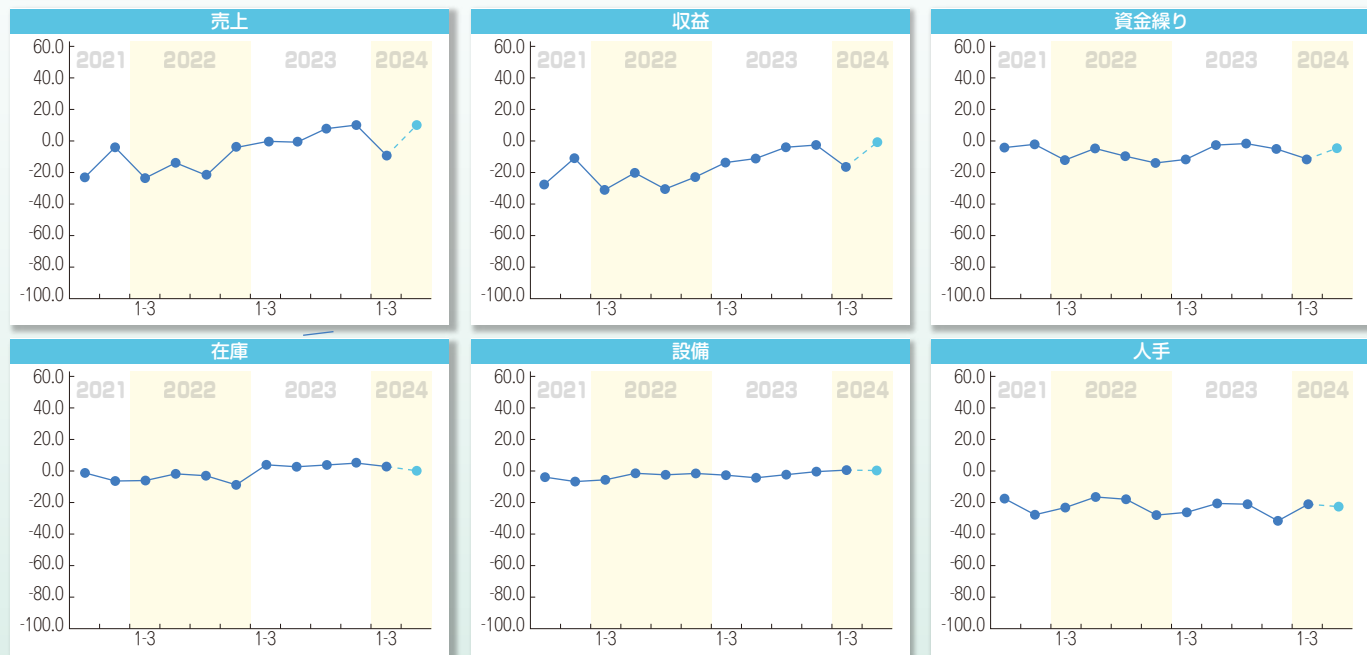
今期の業況D-Iは、前期比12.0ポイント低下の▲17.1となり、悪化。自動車メーカーの不正問題の影響が大きく、製造業を中心に、卸売業、サービス業で悪化。来期の予想業況D-Iは、11.3ポイント上昇の▲5.8の見通し。建設・不動産を除くすべての業種で改善を見込む。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

●実績 ●見通し



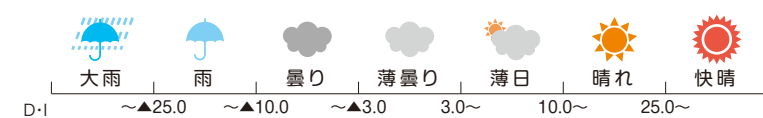
へきしん取引先景況調査とは

本調査は、地域および業種の景気実態および景気予測(景況)を把握するため、四半期ごとに当金庫の取引先企業様にアンケート調査を実施し、回答をいただいたものです。

調査概要

実施時期 2024年3月1日~7日  
 対象企業 310社  
 対象地域 西三河および尾張南部を中心とした当金庫の営業エリア

天気図の見方



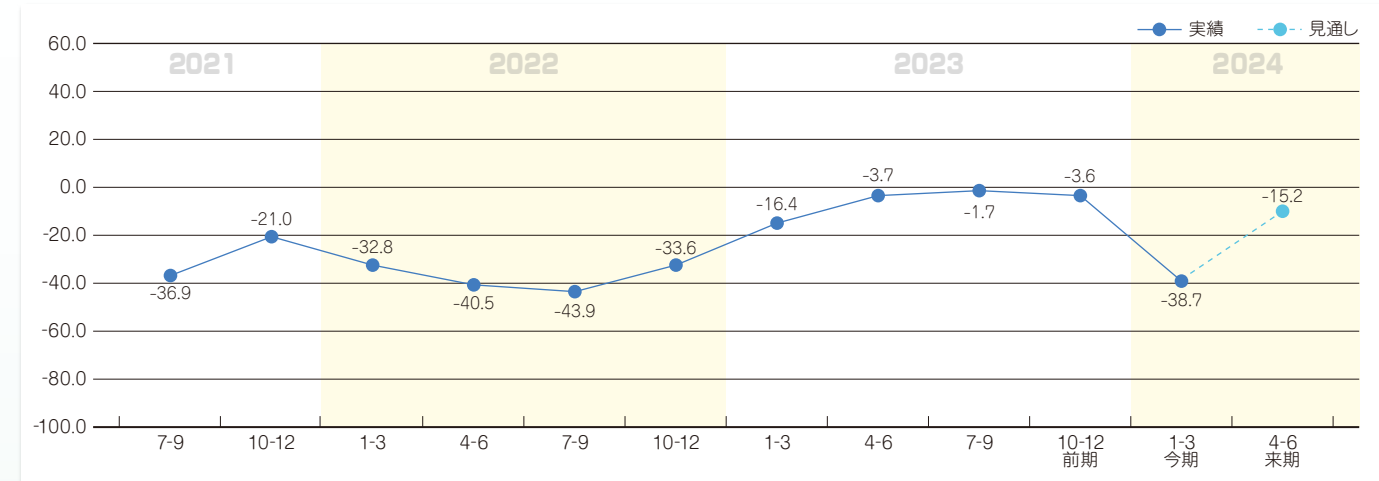
D-I(デフュージョン・インデックス)とは…業況(業界の景気)等を判断するための指数であり、〈良いまたはやや良いと答えた割合〉-〈悪いまたはやや悪いと答えた割合〉で求められます。

製造業

回答数106社

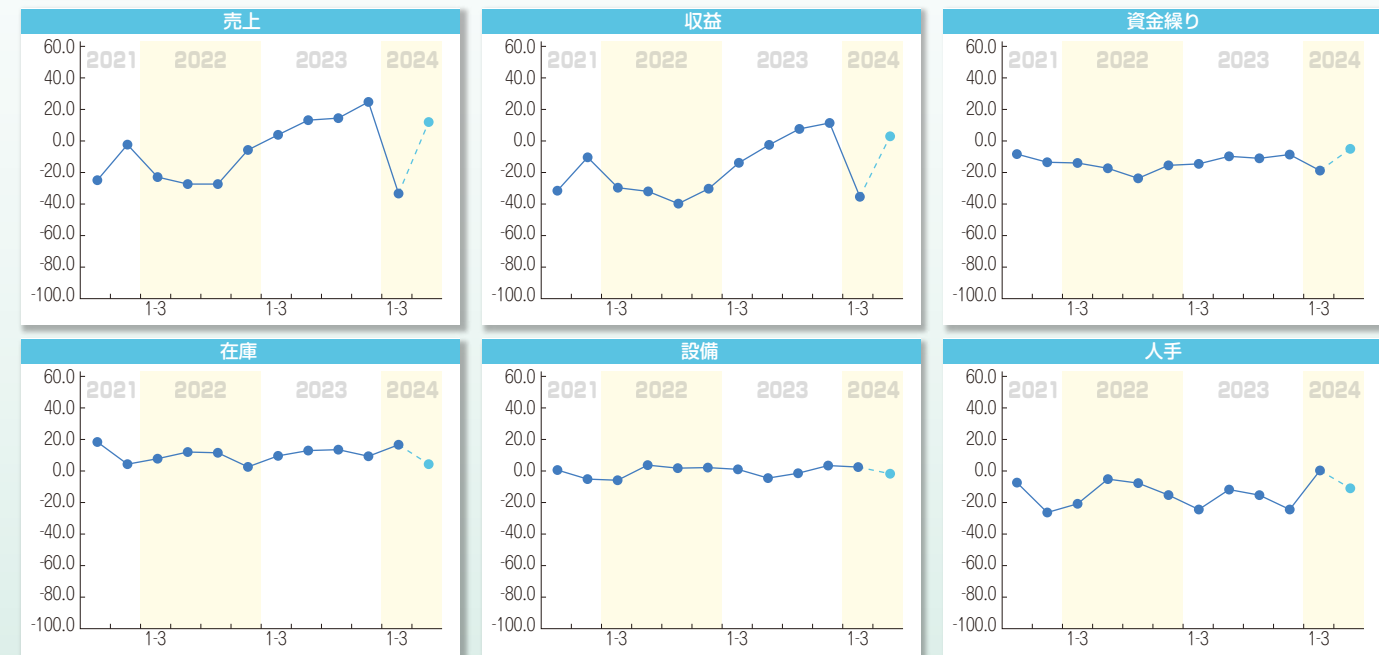
今期の業況D-Iは、前期比35.1ポイント低下の▲38.7と、大幅に悪化。自動車メーカーにおける不正問題の影響を受ける企業が多く、売上、収益ともに大幅に悪化した。来期の予想業況D-Iは23.5ポイント上昇の▲15.2と、改善の見通し。価格転嫁のほか、業務効率化、内製化などにより、収益改善を見込むとの声が聞かれた。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

●実績 ●見通し

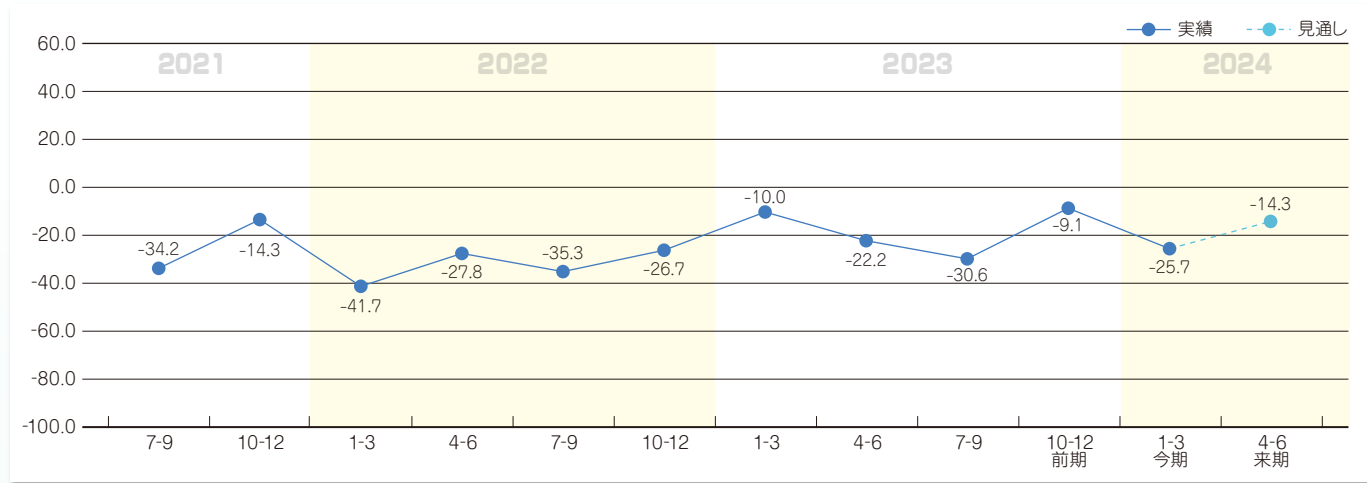


- ダイハツ、豊田自動織機の不正問題の影響により、先行き不透明な状況であるが、価格転嫁交渉が進んでおり、収益環境改善の兆し。(自動車部品製造)
- 収益は減少傾向。販路の拡大と定着が課題。業務内製化による外注費の削減などにも取り組んでいる。(印刷)
- コロナ禍からの回復により、売上、利益とも増加しているが、主にエンジン関係からの受注を受けているため、今後予想される自動車業界の変遷に合わせ販路拡大中である。(機械製造業)

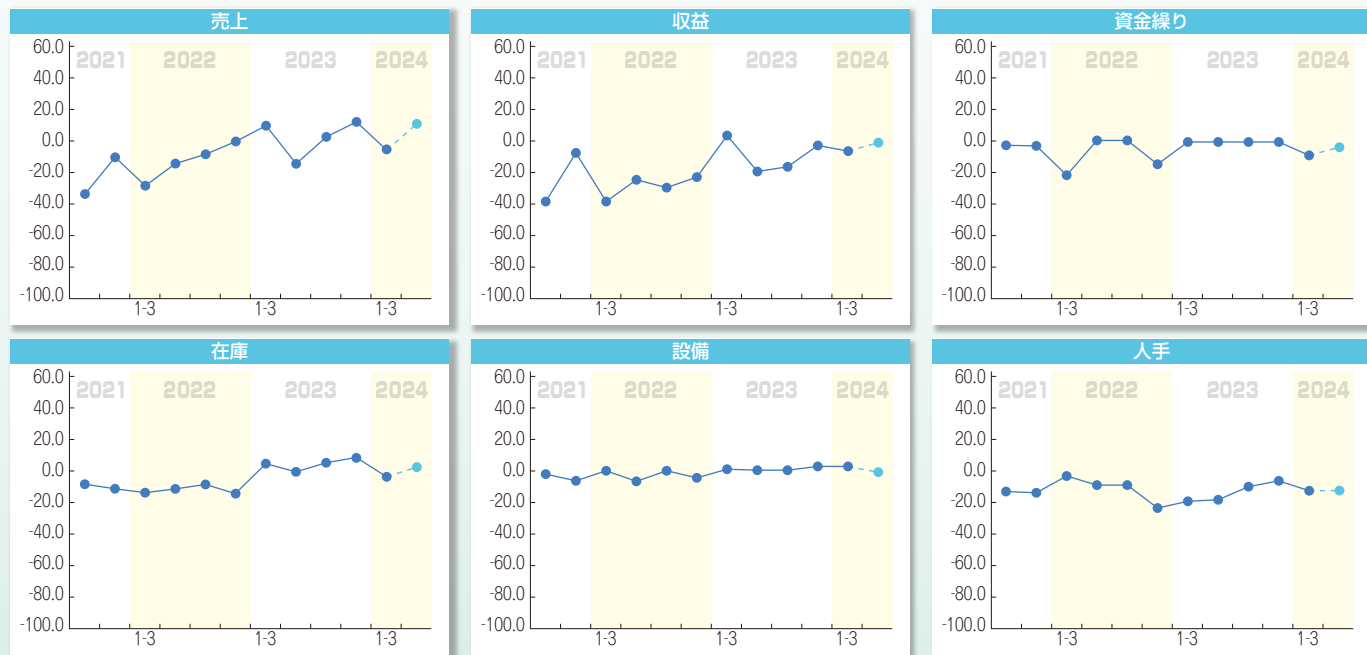


**卸売業** 回答数35社

今期の業況D・Iは、前期比16.6ポイント低下の▲25.7と悪化。人材不足による受注機会逸失や自動車不正問題の影響などもあり、売上、収益ともに悪化。来期の予想業況D・Iは11.4ポイント上昇の▲14.3と、改善の見通し。業況の改善に向け、人材確保や経費圧縮などに取り組む企業も見られる。



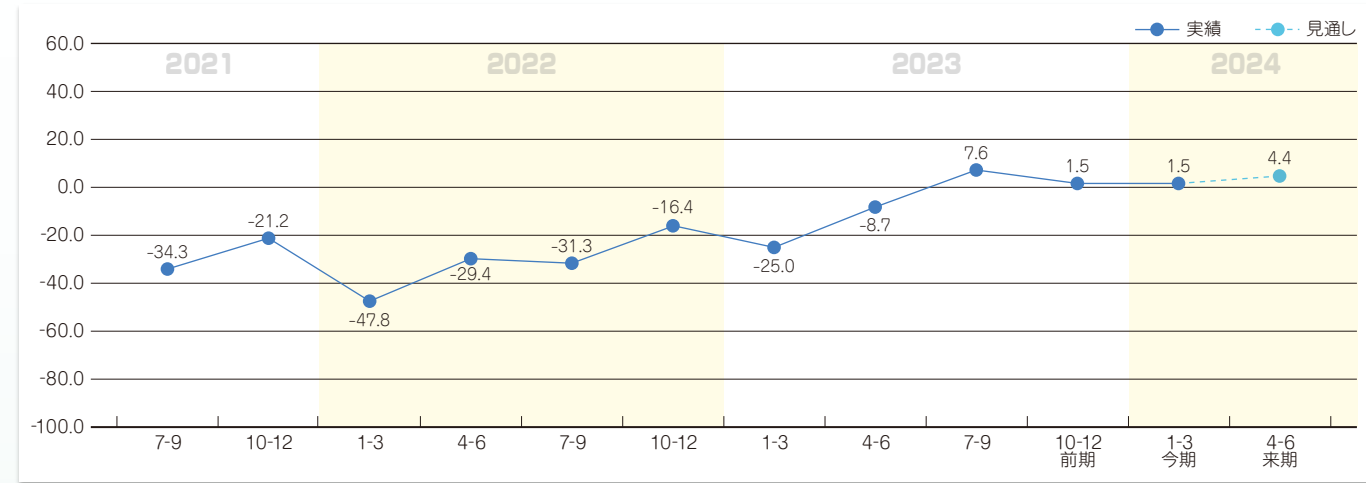
主要D・Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



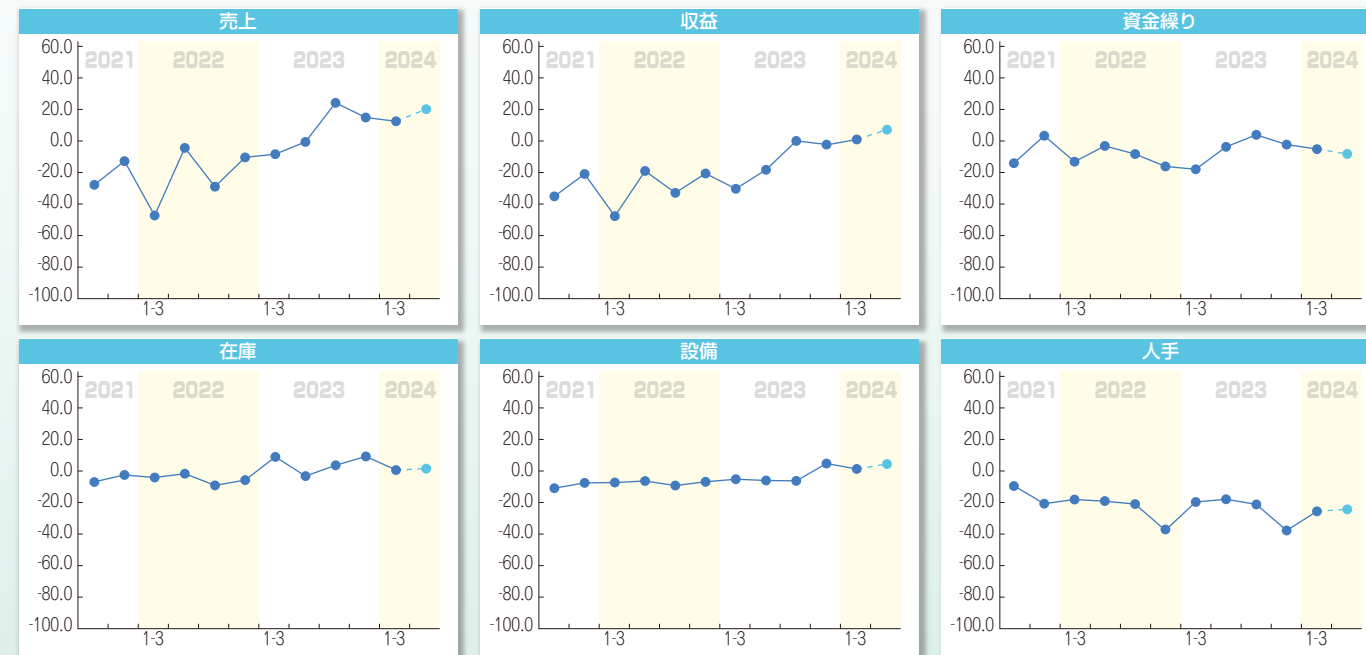
●機械の導入により、量産体制を固めている。来年度から外国人実習生を雇用し、さらなる生産性向上を目指す。(食品卸売)  
 ●人材が不足しており、受注の増加が難しい状況が続いている。従業員の高齢化も進んでおり、採用が急務であるとする。(建築材料卸売)  
 ●仕入価格、販売価格の上昇傾向は続く予想。円安による原材料費の高止まりを懸念している。(繊維品卸売)  
 ●フォークリフト部門において豊田自動織機の影響があり、売上減少。平常化は今年の10月頃からと見込んでいる。(鋼板卸売)

**小売業** 回答数68社

今期の業況D・Iは、前期比横ばいの1.5となった。売上は、前期比では悪化したもののプラス水準で推移。経費削減などにより収益改善に努める企業が多いことがうかがえる。来期の予想業況D・Iは2.9ポイント上昇の4.4。売上、収益ともに改善が予想される。



主要D・Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



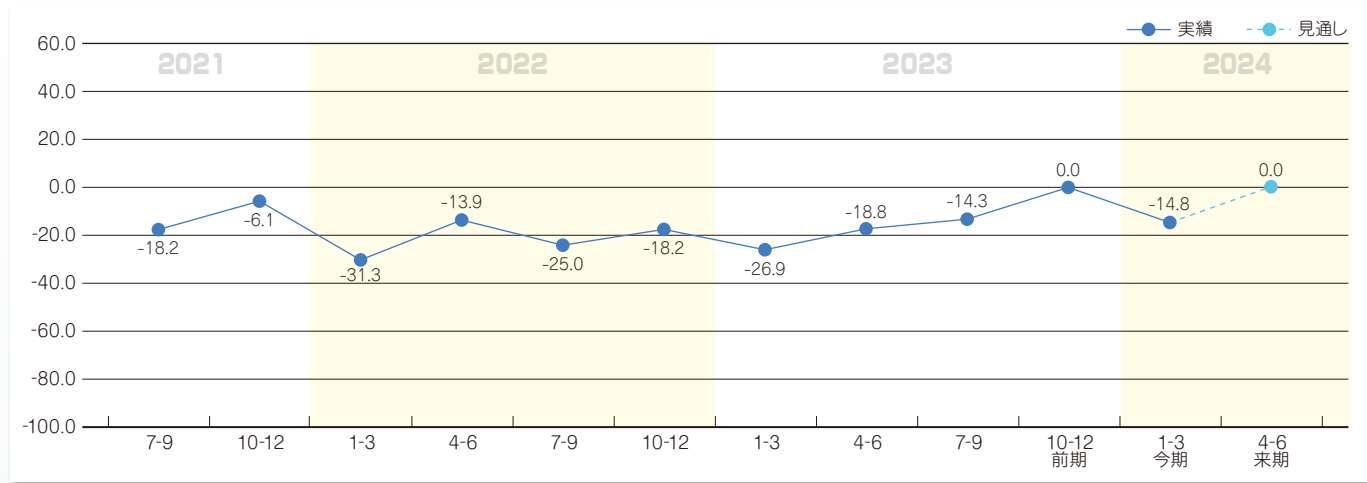
●以前より従業員不足や高齢化に悩んでいるが、なかなか対策ができていない。(自動車販売)  
 ●各種コストが増加するなか、賃金の引き上げ等を行うために経費の削減に努めている。(食品販売)  
 ●販売部門の売上は減少。レンタル事業の強化を図る方針。(呉服店)  
 ●宅配はますますであるが、総売上はコロナ禍前には戻らない。特に酒類の回復が遅い。(飲食店)



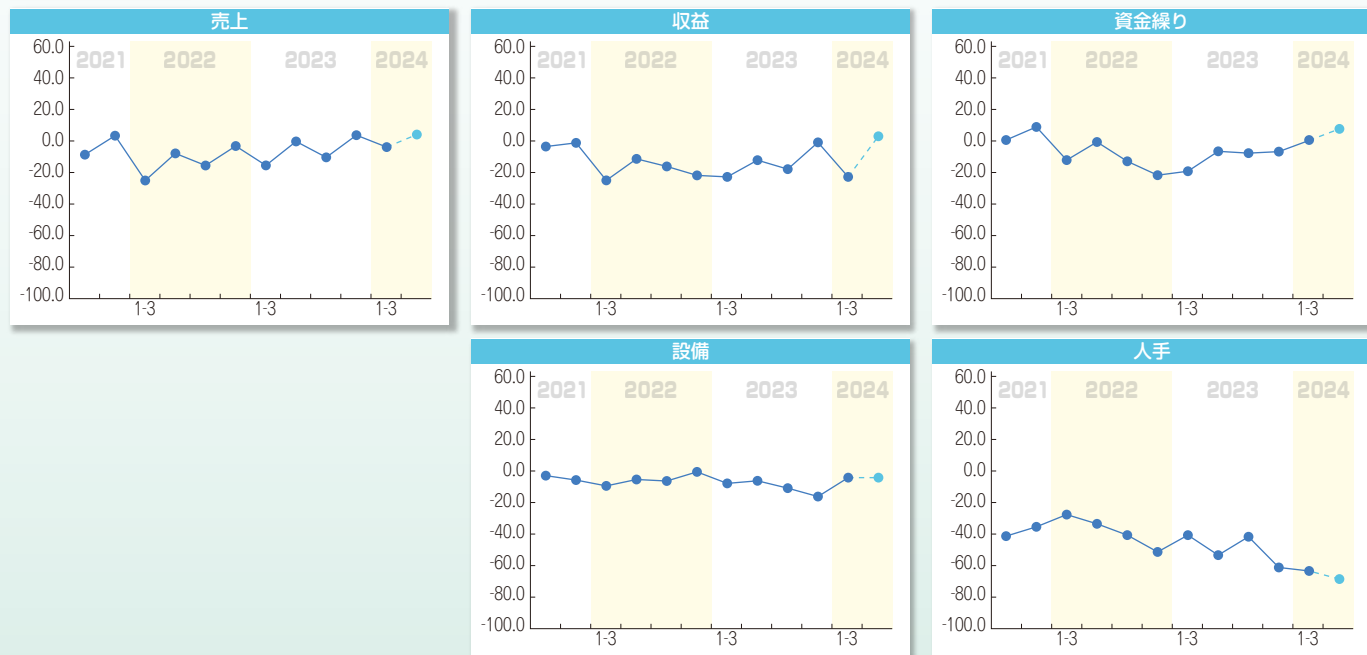
**サービス業** 回答数27社

今期の業況D-Iは、前期比14.8ポイント低下の▲14.8と4期ぶりの悪化。人件費など経費の増加により収益は悪化。人手不足は依然解消されず、引き続き多くの企業が課題としている。来期の予想業況D-Iは14.8ポイント上昇の0.0と、改善の見通し。販路拡大や価格転嫁など、売上、収益改善に向けて取り組むとの声も多い。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

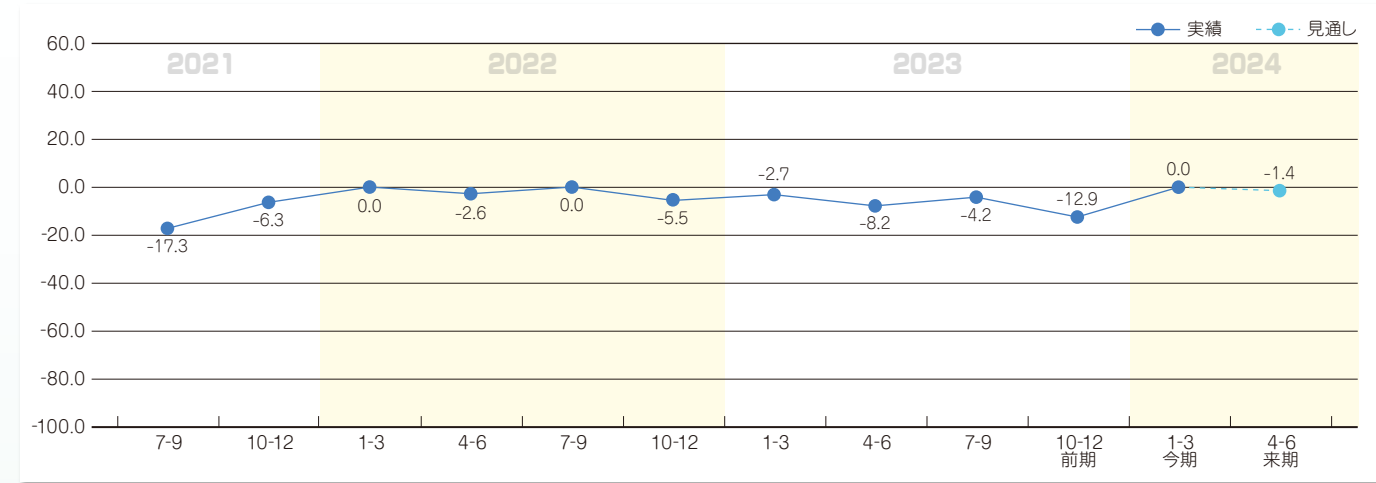


- 長年、人手不足と人材育成に悩んでいる。顧客満足度を高めるべく、セミナーに積極的に参加している。(エステティックサロン)
- 今後賃金を2~4%ほど引き上げ予定のため、人件費増加が課題。原材料高騰の影響を受けているが、3月から値上げを行い、価格転嫁はできている。(クリーニング店)
- 同業他社との競争により売上が減るリスクを、販路拡大や技術の部分で補おうとしている状況。(理美容業)

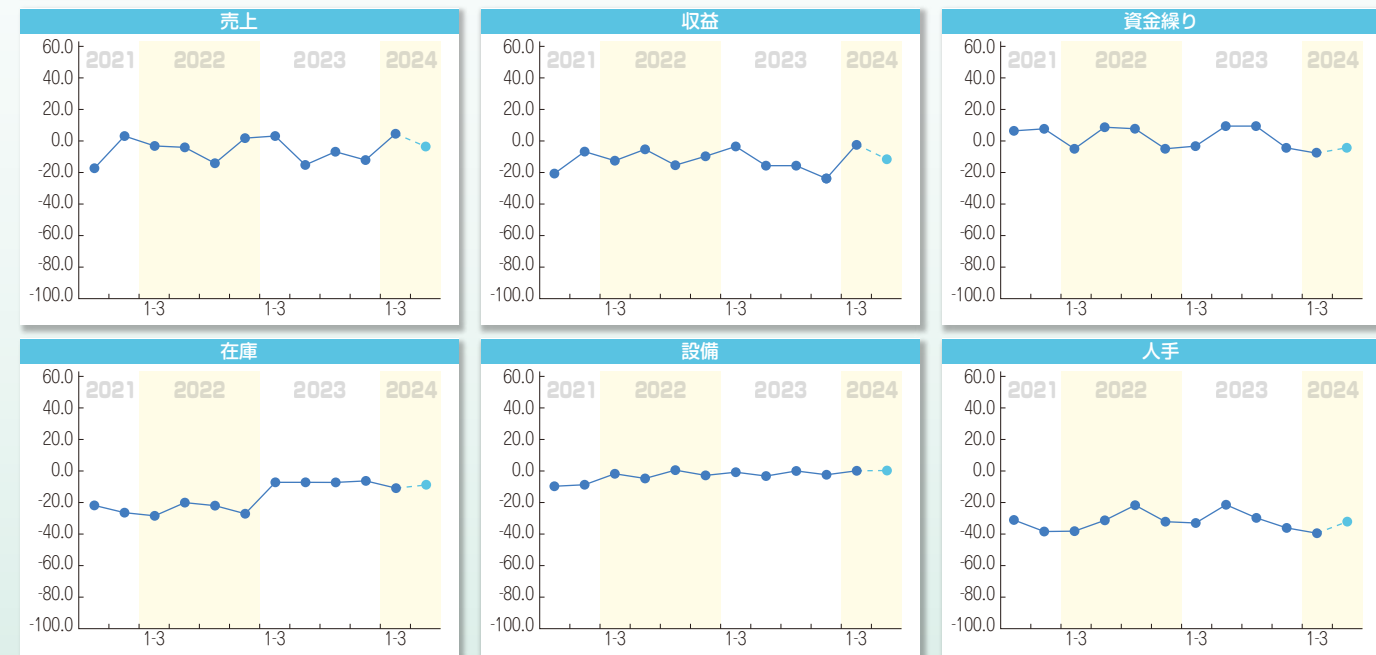
**建設・不動産業** 回答数72社

今期の業況D-Iは、前期比12.9ポイント上昇の0.0と、改善した。年度末にかけて工事増加などにより、売上、収益ともに改善した企業が多い。建設業では多くの企業が人手不足と回答した。来期の予想業況D-Iは1.4ポイント低下の▲1.4と、わずかに悪化の見通し。地価や資材価格、人件費上昇など、収益を圧迫する要因は依然多い。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



- 業界として人手不足は課題ではあるが、一から育てるというより、即戦力となる人材が今は必要。外部研修を活用して、人材育成にも注力したい。(土木建築)
- 今期、補助金を活用し異業種にもチャレンジ。人員も増加させ、増収へトライしている。(住宅建築)
- コロナの影響で値下げした家賃を元の賃料に戻せずいるのが課題。(不動産賃貸業)
- 仕入価格の高騰に関しては価格転嫁できている。あとは販路を拡大できるかがポイント。(建売販売)



地域の“今”と“これから”  
蔵やお寺のまち 碧南市



写真：西方寺(提供：碧南市観光協会)

<表紙の写真> (提供：碧南市観光協会)

碧南市は、名古屋市から40km圏内に位置し、北は油ヶ淵、東は矢作川、西と南は衣浦港と、周囲を水に囲まれたまちです。温暖な気候と風土に恵まれ、窯業、鋳物、醸造などの伝統産業や、商業、農業、漁業が盛んです。昭和32年に衣浦港が重要港湾の指定を受けてからは、臨海工業地域としてめざましい発展を続けています。

旧大濱町は、古くから海運の町として栄え、多くの寺社が建てられました。特に大浜てらまち地区は、南北1.2kmほどの狭い地区に、宗派を異にする十のお寺が集まっています。

また、碧南市は「白しょうゆ」や「三河みりん」の発祥の地で、日本最古のみりん蔵があるなど路地裏には蔵や古い家屋が連なっています。週末には碧南市で蔵やお寺を巡って歴史を感じてはいかがでしょうか。



愛知県安城市御幸本町15番1号  
(vol.62 2024年4月発行)